



2018年日本語教育学会春季大会（東京外国語大学）

チャレンジ支援企画 - 「わかば」なあなたに-

チャレンジ支援委員会では、2016年度より大会会場で「わかば」なあなたが参加できる各種プログラムを用意しております。ぜひご参加ください！



🌱「わかば」なあなたとは（非会員も大歓迎）🌱

- * 日本語教育を学ぶ大学生・大学院生の方
- * 日本語教育に関わり始めたばかりの方
- * 日本語教育の経験は長いけど、研究を始めたばかりの方、研究をやってみみたい方など…

🌱**わかば・コンシェルジュ** ◆5月26日(土)12:50-14:45/27日(日)9:00-13:30 大会受付前
「どこでどんな発表をしているの?」「どこに行けばいい?」など、「わかば」なあなたの素朴な疑問になんでもお答えします。お気軽にお立ち寄りください。大会参加記念に写真撮影も可能です！

🌱**わかばさんいらっしゃい** ◆5月26日(土)12:00-12:50 研究講義棟1階104教室
「わかば」なあなた向けに大会の内容をダイジェストで紹介するオリエンテーション。
開会式会場までご案内もします！昼食持参でぜひお越しください。

🌱**ぶらさ da わかば** ◆5月27日(日)12:10-13:20 研究講義棟1階104・105教室
皆さんの少し先を歩いている「センパイ」と出会い、研究や実践、キャリアの相談など、一対一で40分間、自由に対話してみませんか。当日5月27日(日)9:00から大会受付前に設置する「わかば・コンシェルジュ」で申し込みを先着順（定員：24名）で受け付けます。センパイの詳細については、次ページ以降をご覧ください。

問合先：公益社団法人日本語教育学会 チャレンジ支援委員会 E-mail: challenge@nkg.or.jp
〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-4-1 東方学会新館 2F TEL: 03-3262-4291

※最新情報は、twitter (@NKGkouhou), 日本語教育学会 Facebook (公益社団法人日本語教育学会) で！



ぷらさ da わかば センパイリスト

《日時》2018年5月27日（日）12：10～13：20

《会場》東京外国語大学 研究講義棟 1階 104・105教室（日本語教育学会春季大会会場）

《申込》当日5月27日（日）の9：00より大会受付前の「わかば・コンシェルジュ」にて先着順。

	お名前・ご所属 (敬称略・50音順)	プロフィール
1	いわせ 岩瀬 ありさ 大原学園	私はフェアトレードの会社に勤務後、英国へ。帰国後に日本語教師になりました。修論のテーマは「日本語教育と歌舞伎」。勤務校でその実践を続けています。現在の関心分野は、質的研究・ビジネス日本語・アカデミックジャパニーズです。
2	いわた かずなり 岩田 一成 聖心女子大学	中国の専門学校、関西の日本語学校（入社して4年で閉校！）などで日本語を教えました。日本語教師を振り向かせる文法研究がテーマです。地域日本語教室にも関わっています。嫌いなものは抽象論とオチのない話です。
3	おおしま やよい 大島 弥生 東京海洋大学	中国滞在をきっかけに日本語教師になり、日本語学校・海外・国内で教えてきました。日本語教育の手法は、大学初年次のアカデミック・ライティング指導や多文化の学生がともに学ぶ授業などへも、生かされています。
4	おおふね 大松 ちさと 国際交流基金日本語国際センター	日本語学校、海外現地採用（大学、出版社）、財団勤務、国際交流基金派遣専門家等を経て現職。赴任した国は中国、ベトナム、フィリピンで中高校の教材開発や教師研修、学習者支援に携わってきました。中高生がわくわくする学びを模索中。
5	きくおか ゆか 菊岡 由夏 国際交流基金日本語国際センター	国際交流基金日本語国際センター（浦和）で非母語話者日本語教師の研修を担当。日本語教育との出会いは地域の日本語教室。JOCV（ブータン）派遣、帰国後大学院進学。日本語学校、高校、留学生別科等で日本語を教えました。
6	まくち あまよし 菊池 哲佳 (公財)仙台観光国際協会／多文化社会専門職機構	仙台（仙台観光国際協会）を拠点に、主に外国につながる子どもの支援、防災、外国人相談に従事し、多文化社会コーディネーターとして「多文化共生」の地域づくりに取り組んでいます。コーディネーター論に関心があります。
7	きたがわ さちこ 北川 幸子 神田外語大学	日本語学科を卒業後、海外の日本語学校に就職し、帰国後、大学院に進学。修了後は国内外の高等教育機関で日本語を教えました。語彙教育に関心があります。最近では視覚に障害のある学習者への教育についても研究を行っています。
8	きたむら ゆうと 北村 祐人 文化庁	文化庁で日本語教育を担当する専門職です。これまで名古屋大学とよた日本語学習支援システムでコーディネーターとして働くなど、地域日本語教育を中心に活動し、現職に至りました。多文化社会専門職機構認定多文化社会コーディネーター。
9	くが ひとみ 久我 瞳 名古屋外国語大学／Semiosis 株式会社	ICTを活用した言語教育の可能性に惹かれ、気づけば志を同じくする大学院の仲間たちと教材作成アプリ「Finger Board」の開発を始めていました。ICTを使った授業や教材開発に興味がある方、声を掛けてください。仲間も募集中です！
10	こうの あかね 河野 あかね つくばインターナショナルスクール	国内の高校で、留学生の日本語授業やクラス担任、寮での生活指導などを担当してきました。現在は、国際バカロレア認定のインターナショナルスクールで、幼稚園児から高校生までの日本語指導に携わっています。
11	しま ちはる 嶋 ちはる 国際教養大学	国内外で日本語教育に関わる中で、第二言語話者が言葉を使いながら、どのようにコミュニティの中で社会化していくのかに興味を持ちました。特に外国人看護・介護人材が働く職場や、大学の混住寮に注目し研究しています。



ぷらさ da わかば センパイリストつづき



	お名前・ご所属 (敬称略・50音順)	プロフィール
12	しまづ ももよ 嶋津 百代 関西大学	ナラティブ研究やストーリーテリング活動をライフワークとし、インタビューや読み聞かせの日々を送っています。多種多彩な職業経験と長期の海外在住経験、長年の日本語教師キャリアを生かし、勤務校では日本語教員養成を担当しています。
13	たがわ ゆきのり 田川 恭識 日本大学	日本語の授業も含め、私が大切にしているのは、どうすれば受講生が主体的で自律的な学習者になれるか、ということです。日本語音声学、音声教育が専門ですが、最近ではアクティブラーニングを取り入れた授業にも力を入れています。
14	つじ かずこ 辻 和子 ヒューマンアカデミー 日本語学校東京校	インドシナ難民の中高生の進学支援から日本語教育の世界へ。多くの先輩に導かれ、「日本語を教える」楽しさに夢中になりました。今は日本語教育を通して社会基礎力を養成すること、そのための「教えない授業」を目指しています。
15	とくなが あかね 徳永 あかね 神田外語大学	ボランティアや非常勤講師を経て、現在は留学生に日本語を教えています。目下の興味は、インターアクションのための日本語、言語教育プログラムの可視化、それと多言語環境子育ての親の意志決定などです。
16	とらまる ますみ 寅丸 真澄 早稲田大学	企業経験を経て日本語教育の世界へ。以後、日本語学校や大学で留学生教育や教師教育に携わってきました。専門は文章・談話研究と実践研究ですが、最近では、学習者のライフに寄り添える学習支援やキャリア支援について考えています。
17	なしま よしなお 名嶋 義直 琉球大学	日本社会が窮屈で仕事を辞めてマレーシアで日本語教育の世界に。アジアを放浪して帰国。日本語学校教師・大学院生を経て大学就職。2016年より現職。権力の意図や実践を可視化する談話研究がライフワーク。旅とバイク好きのヒッピー。
18	ふきはら ゆたか 吹原 豊 福岡女子大学	ベトナム、マレーシア、インドネシアで予備教育や中等教育での日本語教育に関わり、国内の日本語学校等でも中学生から社会人まで幅広く対象にしてきました。研究面では主に移住労働者と子どもたちの日本語習得研究を行っています。
19	ふじた ゆういちろう 藤田 裕一郎 朝日大学	国内の日本語学校や海外の大学で働いた後、大学院で第二言語習得を学びました。現在は大学の留学生別科で留学生の予備教育に携わっています。「現場に生かせる第二言語習得研究」ができればいいなと思っています。
20	まつもと かずこ 松本 一子 愛知淑徳大学	海外で子育てをした経験から、日本在住の外国につながる子どもたちの教育に関心を持ち、25年ほど愛知県を中心に集住地域の学校を見続けてきました。放課後学習支援教室のNPOの活動にも20年ほどはまっています。
21	まんなみ えり 萬浪 絵理 千葉市国際 交流協会	地域日本語教育コーディネーター6年目。国際交流協会所属です。20年の日本語教師経験から生まれた思いで今の仕事に入りました。対話活動のおまけで日本語習得がもれなくついてくる、そんな市民参加の日本語学習活動を追求しています。
22	みなみうら りょうすけ 南浦 涼介 東京学芸大学	日本語教育・社会科教育・教師教育が好きで「社会とことばの教育をともに考えることができる先生」を育てる仕事をしています。タイの日本語教師、年少者、小中高校の教師（社会科、たまに理科や図工）などをしながら今に至りました。
23	やん ほん 楊 虹 鹿児島県立 短期大学	言語と文化の関係や日中対照の視点から、日本語と中国語それぞれの会話のスタイルやコミュニケーションの特徴を分析しています。日本語学習者にとってより良いコミュニケーションとは何かについて考え続けています。
24	り じえほ 李 在鎬 早稲田大学	量的分析に基づく日本語教育の研究をしています。特にコーパスやウェブシステムを活用した日本語教育研究をやっています。研究の方法論でアドバイスが欲しい人、ご指名ください。